

地域の自主的な清掃活動等を通じての環境啓発について

平成22年3月13日
木曽川リバーワークー宮協議会
報告者 会長 馬場 慎一

活動内容について

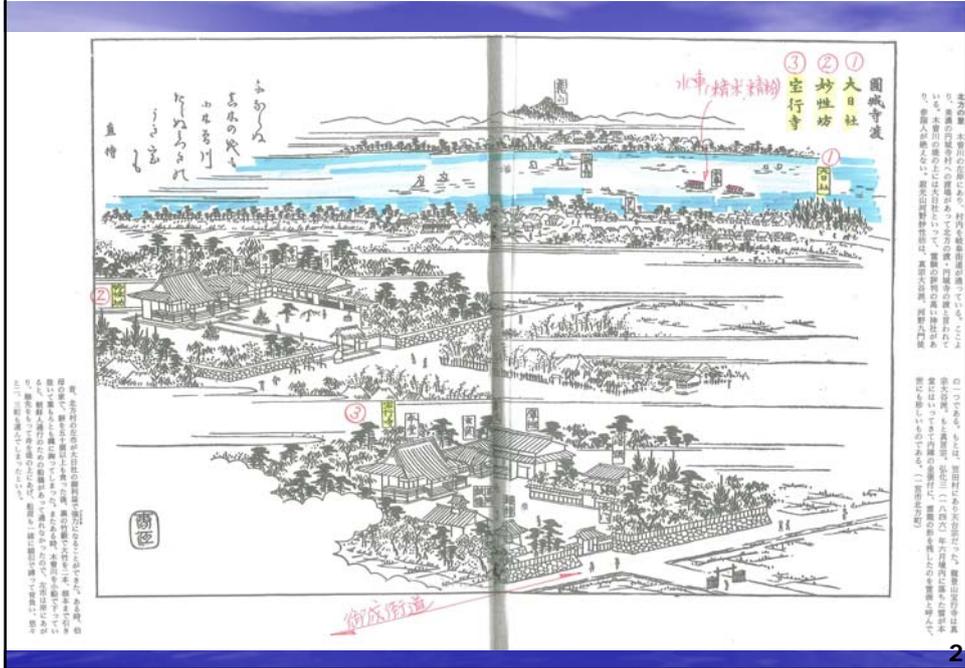
1. 関連する学会、講演等への参加
2. 地域の美化や環境保全運動
3. 歴史を後世に伝える活動
4. 地域に根ざした文化や風習の継承
5. 住民の健全育成活動
6. その他目的を達成するための活動

■堤防清掃 月1回実施



■10月21日
川と海のクリーン大作戦協賛

良好な環境の時代 ~江戸時代の一宮市北方町の風景~



江戸時代の北方町は、本宮川の左岸にあり、村内を御成街道が通っていた。この
 1. 園城寺 2. 大日社 3. 妙性坊 4. 空行寺
 5. 御成街道
 6. 本宮川
 7. 水車、精米、糟粕
 8. 密

自然環境の変化・悪化 その1 ~河畔林の状況(水位低下による川原の土砂化)~



河畔林の状況 (水位低下による川原の土砂化)

自然環境の変化・悪化

本曾川 (S50年頃・建設省資料) 35年前

対岸(岐阜県側)より見る(現在)

東海道本線

河畔林

名鉄本線

自然環境の変化・悪化 その2 ～河畔林の状況(水位低下による川原の土砂化)～

■名鉄下流河川内



樹林化の原因

- ・洪水はあるが、頻度が少なく冠水が減少
- ・河床低下や、流速低下により川原に細粒土砂の堆積が増加し、植物の生育が進んだ。

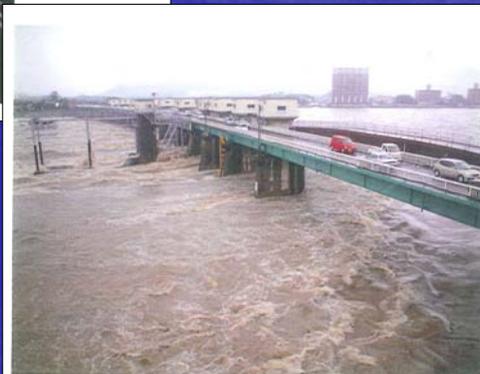
■名鉄上流



4

自然環境の危険性 その1

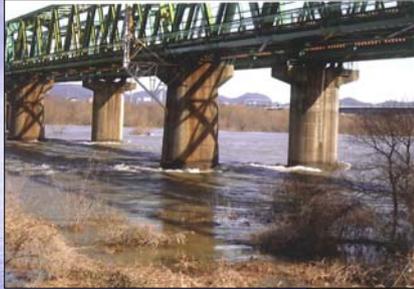
■洪水時の犬山城付近



5

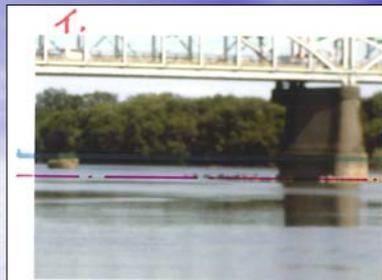
自然環境の危険性 その2

■JR東海道線 平成22年2月28日



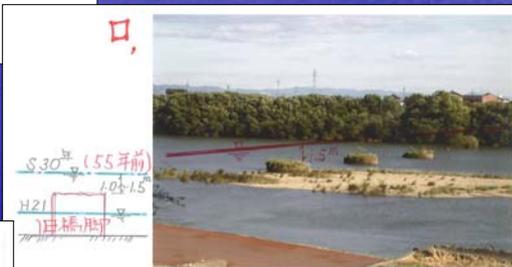
6

自然環境の変化・悪化 その3



木曾川の水量、水位

平成21年11月
55年前
33年前



S.30^前 (55年前)
1.05-1.5
旧橋脚



旧国道木曾川橋 (S52, 9, 18)

33年前

旧橋脚
(露出している)

7

自然環境の変化・悪化 その3



住環境の状況 ~JR東海道本線上流の堤防裏側の法面に建つ人家~



社会環境の実態 その1

平成21年1月20日 今年初めての(ごみ)清掃活動8時よりJRより名鉄木曾川堤駅西までトラック3台分を集めた。出席者(26名)程参加あり。堤防の草を刈り取ってほしい、ごみが隠れて見にくいので不法投棄が多発しているのでは。タイヤ20本 ペンキの空缶が7箇所あり警察に通報して警察の捜査をお願いした。モーニングコーヒーにて今年初の仕事について語った。



社会環境の実態 その2

平成21年12月16日 今月の(ごみ)清掃活動8時よりJRより名鉄木曾川堤駅西までトラック2台分を集めた。出席(24名)程参加。堤防の草を刈り取って欲しい、ごみが隠れて見にくいので不法投棄が多発していると云う意見は同じ。タイヤ10本 ペンキの空缶が9ヶと小型缶4ヶがあり。

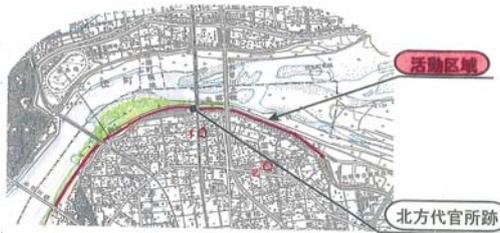


自然を守る啓発運動・活動 その1

木曾川リバーワークー宮協議会(平成17年4月発足)

活動テーマ…木曾川左岸区域の歴史と文化の発掘そして伝承

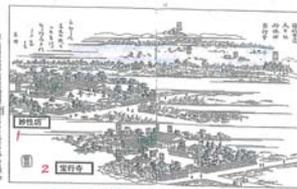
■区域の概要



「木曾川雨霽」絵となった風情

■木曾川堤防の歴史

木曾三川は肥沃な濃尾平野を形成し中部地方の産業と文化を飛躍的な発展の成し遂げる基盤を確立する役割をはたしてきました。
その反面水害に対する危険度が非常に高く、先人達の幾多の苦闘の物語が治水史に伝えられています。
天正14年(1586)木曾川に大洪水が起こる前までの本流は、今の境川を流れ墨俣付近で長良川を合流していましたが、この洪水で木曾川は流路を一変し、ほぼ現在の河道を主流とするようになりました。
この区域は江戸時代の慶長13年(1608)伊奈備前守忠次が家康の命により犬山から下流の木曾川左岸に大堤防を築きました。この大堤防は「御園堤」と称されています。

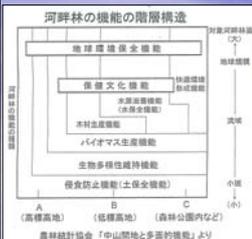


尾張名所図絵「北方の里」

12

自然を守る啓発運動・活動 その2

■環境と健康…その維持計画 河畔林の適切な保護と住民の健康増進運動の展開



国道22号線 名鉄本線

河畔林の多面的な機能

- 1) 生物多様性の保全、すなわち生態系保全機能(保存機能)
- 2) 水資源保全、自然災害防止、快適環境形成、地球環境保全等の環境保全機能
- 3) 森林浴やハイキングを通しての保健・文化機能(存在機能)

活動目標

- サイクリングロード
- 運動広場
- 散策道
- 四季の花壇
- ふれあい広場

■自然空間博物館構想

現在、北方町区域の木曾川堤防は、ほぼ未改修で昔の御園堤の姿を残しています。ここには木曾川筋最大の犬日川池、北方渡船場、北方代官所、川登奉行所、宝江渡など語り継がれる歴史がたかざらあります。
この貴重な歴史、文化遺産を残すため、すぐそばの堤内地に北方代官所資料館(あるいは広場)を計画し、先人の治水と生活への関いを通じて、郷土の歴史を体験する場とします。
この資料館を拠点として、数々の北方の歴史を語る歴史・文化ネットワークを構築し、子供たちをはじめ多くの人々に先人の汗の足跡をたどってもらいたいと願っています。

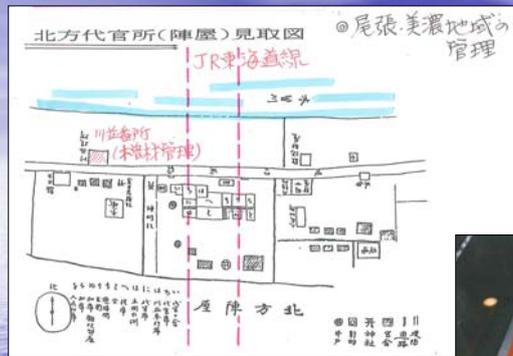


■北方代官所資料館(案)



13

歴史環境を守る、伝える



14

治水環境の保全 ～地域の安全と安心を図る～

■堤内地を補強された堤防



■堤外地を補強された堤防



15

環境を守る。健康を維持する。

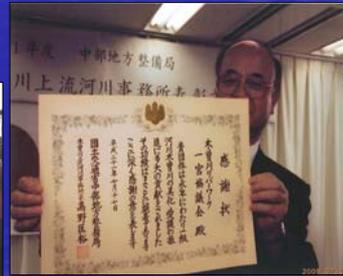
■毎月1回のごみ清掃



■長寿会と花壇づくり



■平成21年7月17日感謝状授与



16

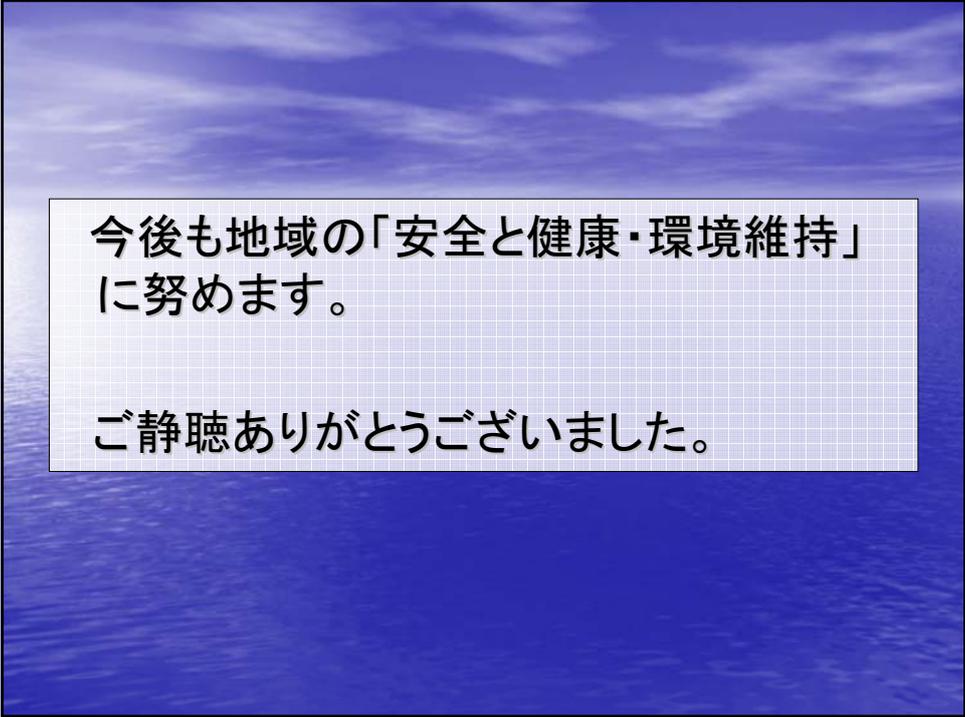
自然環境の復元・保全

河畔林の適切な保護

■現在 防竹工事実施中



17



今後も地域の「安全と健康・環境維持」
に努めます。

ご静聴ありがとうございました。